

事務局説明資料

– 前回審議の振り返り –

2025年12月17日

経済産業省

製造産業局 車両室

前回委員会で了承された骨子の概要（競輪）

競輪第3次中期基本方針（2026～2030）骨子

競輪の存在意義 (Mission)

競輪開催を通じて人々の心を動かす非日常を提供し、その売上・収益を社会に還元することにより、地域の活性化と社会課題の解決に寄与する。

競輪のあるべき姿 (Vision)

社会・お客様からの信頼をもとに、メジャースポーツとしての競輪の価値と持続可能性を追求し、社会に貢献し続ける。

社会環境の変化

- ◆ 人口減少・人材不足
- ◆ 物価高騰・景況感悪化
- ◆ デジタル技術の進展
- ◆ 訪日外国人の増加
- ◆ 企業の社会的責任への意識の高まり
- ◆ Z世代の価値観
- ◆ 2028ロス五輪

など

あるべき姿の実現に向けた「4つの柱」(Value)

社会還元の浸透

・全ての競輪関係者は、社会還元が競輪の目的であることを認識し、競輪が地域の活性化や様々な社会課題の解決に貢献していることを広く社会に浸透させていく。

顧客の増加、 エンゲージメント強化

・幅広い年齢層、未経験者への認知度の向上や、インバウンド需要の獲得等を通じた市場開拓。
・来場しやすく、滞在して楽しめる競輪場の施設と環境の整備。
・顧客定着のために、SNSの活用や本場体験などを通じた顧客エンゲージメントを高める。

魅力的な レースの提供

・顧客ニーズの充足や新たな需要創出に繋がる魅力的なレースを提供。
・商品戦略とプロモーションの効果的な連動による顧客の継続的な流入と定着。
・競輪選手の魅力向上のため、将来のスター選手の育成を促進する。
・国際大会における競輪選手の活躍を契機としたプロモーション。

持続可能な 競輪の運営

・コンプライアンスの徹底、ギャンブル依存症対策等の公正かつ安全な運営の強化。
・競輪開催における業務の効率化。
・次期車両情報システムや選手養成に係るインフラ整備。
・競輪選手志望者の獲得及び競輪選手の養成など、持続的に開催・レースを行うための取組。

前回委員会で了承された骨子の概要（オートレース）

オートレース第3次中期基本方針（2026～2030）骨子

オートレースの存在意義 (Mission)

オートレース開催を通じて人々の心を動かす非日常を提供し、その売上・収益を社会に還元することにより、地域の活性化と社会課題の解決に寄与する。

オートレースのあるべき姿 (Vision)

お客様からの信頼を得られるレース運営と認知向上施策により市場拡大が図られ、持続可能なオートレースの開催と社会貢献の両立が出来ている状態。

社会環境の変化

- ◆ 人口減少・人材不足
- ◆ 物価高騰・景況感悪化
- ◆ デジタル技術の進展
- ◆ 訪日外国人の増加
- ◆ 企業の社会的責任への意識の高まり
- ◆ Z世代の価値観

など

あるべき姿の実現に向けた「4つの柱」(Value)

地方財政への貢献と 社会還元の浸透

・全てのオートレース関係者は、社会還元がオートレースの目的であることを認識し、オートレースが地方財政や様々な社会課題の解決に貢献していることを広く社会に浸透させていく。

事業体制の改編

・持続可能な体制を維持していくため、環境変化に応じた事業体制へ移行していく。

オートレースの リブランディング

・オートレースの商品価値と訴求ポイントを整理・刷新。
・メインメッセージとなる業界スローガンやビジュアル等のリブランディングを実施。

認知度向上と 顧客エンゲージメント強化 による市場拡大

・オートレースを取り巻く市場動向の変化に伴い、新たにインターネットでのコミュニティ運営やオートレースの顔となる選手の推し活等へつなげる仕組み作り、顧客の本場体験の促進による顧客体験価値の創造。

委員からの主なコメント①

注：【競】…競輪 【オ】…オートレース

項目	視点	主な委員コメント
公営競技の役割	地域振興 (地域における役割)	<ul style="list-style-type: none"> 公営競技の売上げを原資とする施行者（自治体）自らが行う地域振興策についても、具体的な実績、事例を業界として発信・共有をし、意識高揚を図ることが重要。施設改修における地域振興のコンセプトなども同様に広報的な取組があつてもよい。【競・オ】
	プロモーション (来場促進含む)	<ul style="list-style-type: none"> 更なる普及に向けてはトップ選手、スター選手の育成だけでなく全体的なすそ野の拡大が重要。特に子供、学生が触れる機会の創出が必要。バスケの会場の盛り上がりを例にエンターテイメント感、生の迫力の提供、選手やファン同士のふれあいの場作りも一層重要。【競・オ】 (観客の立場に立って) 場に行く意味を考えていく必要がある。例えば、ホスピタリティプログラムを作つて、競技観戦と飲食、選手との触れ合いという特別な体験と組み合わせた（勝ち負け以外の）プランを提供し、多様な楽しみ方を味わえるようにすべき。【競・オ】 (メジャースポーツへの育成に向けて) 世界大会で活躍する優秀な競輪選手を積極的に広報し、認知度向上を図つていただきたい。【競】
広報戦略	社会還元実績のPR拡充	<ul style="list-style-type: none"> 競輪事業の意義浸透のために同事業による地域への社会還元（具体的な貢献内容）について、業界としての広報的な取組を考えていただきたい。【競・オ】 補助事業HPでは若い世代へのeスポーツ学校への補助金、授業などの取り組みが紹介され上手にアピールされていた。もっとそういう分野が広く周知されると、よりきめ細やかな支援に繋がり、幅のある社会還元に貢献できるはず。【競・オ】
	インバウンド対応	<ul style="list-style-type: none"> インバウンド戦略は大事。場やHP上の表記の多言語化、youtube配信等、ネット、リアルそれぞれの業界としての取組方針が必要。【競・オ】 外国人人気は若者にも繋がる良い循環となる。そのためには地道で長期的なインバウンド戦略が必要。外国人インフルエンサーを誕生させ発信してもらい、それを見た海外旅行関係のメディアに視察、取り上げてもらう取組も重要。【競・オ】

委員からの主なコメント②

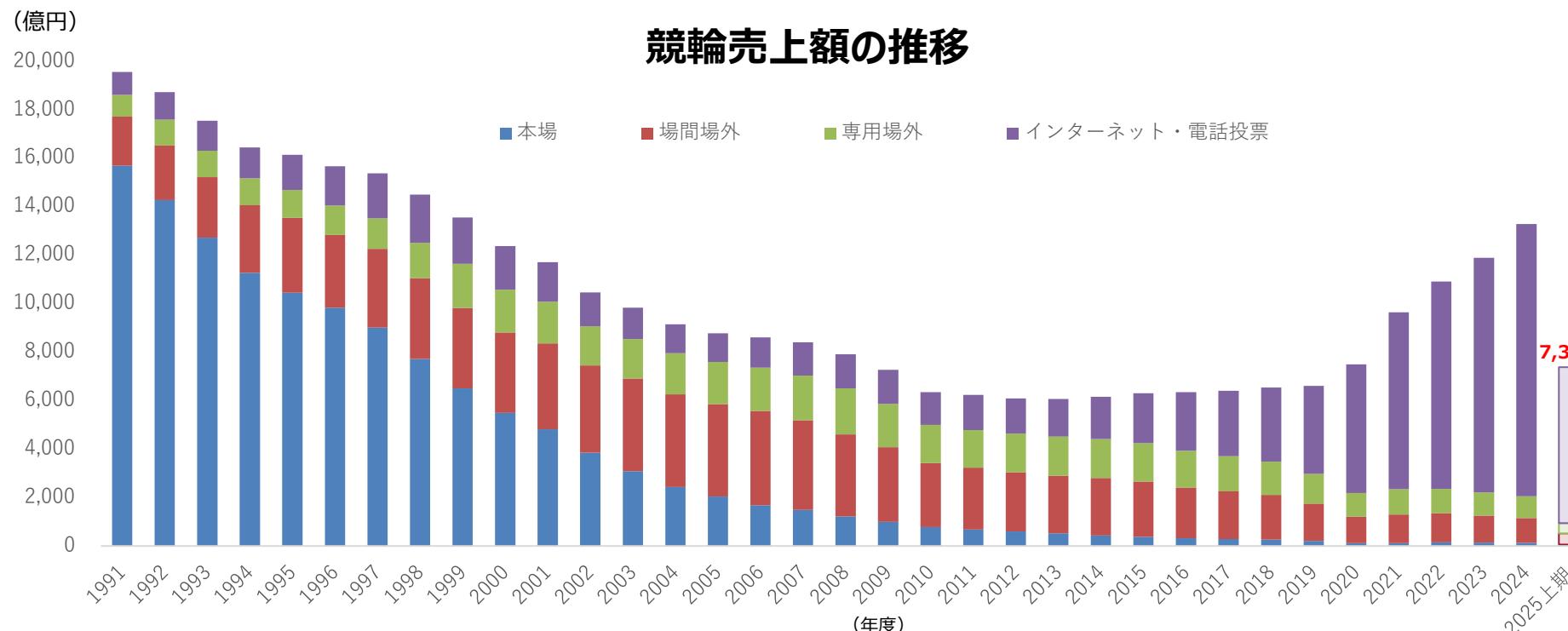
注：【競】…競輪 【オ】…オートレース

項目	視点	主な委員コメント
持続可能な競輪事業運営のために	事業運営方針	<ul style="list-style-type: none"> 社会還元、地方財政への還元という大きなテーマの下、現状の課題解決やその解決策の柱立てはとても分かりやすい。この取組を進めていただきたい。【競・オ】 第1次の売上げ低迷からの克服、第2次の施行者収益の拡大、そして第3次の競輪を通じた顧客への非日常の提供と、とても良い循環として業界がステップを踏んできていることが分かる基本方針案になっている。【競】
	選手の獲得・育成	<ul style="list-style-type: none"> 競技の担い手である選手の確保が大事。すそ野拡大のためには子供や学生が競技と触れ合って競技の魅力を実感できる機会の創出が求められる。【競・オ】 選手の育成という観点では様々なサポート体制が充実していると感じる。スポーツとしての競輪をアピールしていくのであればこの点を上手に広報していくと、世の中に伝わって行くと思う。【競】
	選手活躍の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> これまでの中期基本方針においてレース開催日、レース数を右肩上がりに増加させてきた背景があるが、労働環境の観点から選手への負担が気になっている。【競】 ガールズケイリンによる売上げへの貢献は無視できない状況。是非、女性選手を育てる環境整備の観点から女性専用宿舎の建設増加など、女子選手の滞在環境の整備が進むことに期待。【競】 女性選手が選手（プロ）として輝き続けられるようなレースの魅力構築が必要。【競】
その他	カーボンニュートラルへの取組	<ul style="list-style-type: none"> 次期燃料は合成燃料を現実的な候補として検討しているとのことだが、GX化への積極的な姿勢を発信されてはどうか。【オ】 合成燃料の国産化に向けた進捗を注視しつつ、早期導入に向けて着実な検討が望まれる。【オ】
	新しい商品提供	<ul style="list-style-type: none"> 新たな企画商品の取組み、時間帯や日数拡大について、実際の取組状況など把握したい。【競】

參考資料

(参考：前回からの進捗) 競輪の売上の状況

- 2024年度(2025年3月時点)の合計売上額は1兆3,282億円(対前年同期比+11.7%)。
- 第2次中期基本方針の2025年度売上目標1.25兆円を達成。
- 販売チャネル別ではインターネット・電話投票の比率が年々増加しており2024年度では売上全体の約85%を占めている。

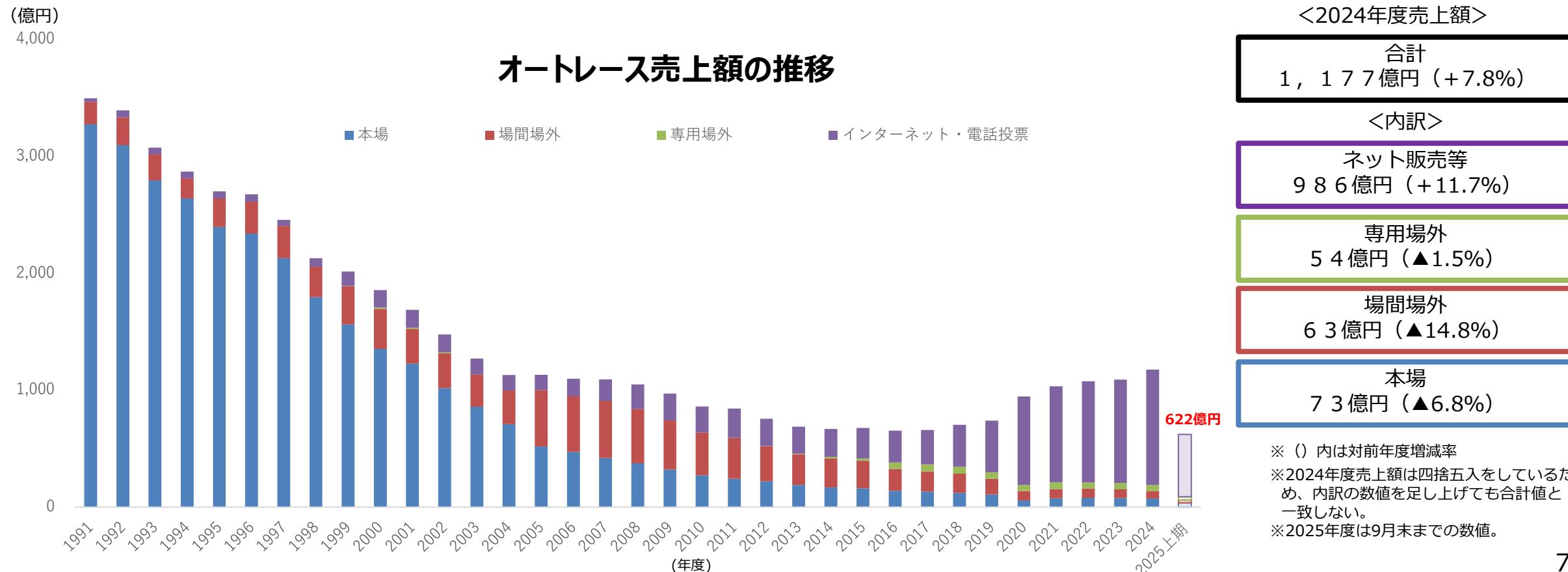


2024年度売上額 1兆3,282億円 (+11.7%)
＜内訳＞
ネット販売等 1兆1,235億円(+16.1%)
専用場外 889億円(▲6.8%)
場間場外 1,025億円(▲8.6%)
本場 134億円(▲2.9%)

※()内は対前年度増減率
※2024年度売上額は四捨五入をしているため、内訳の数値を足し上げても合計値と一致しない。
※2025年度は9月末までの数値。

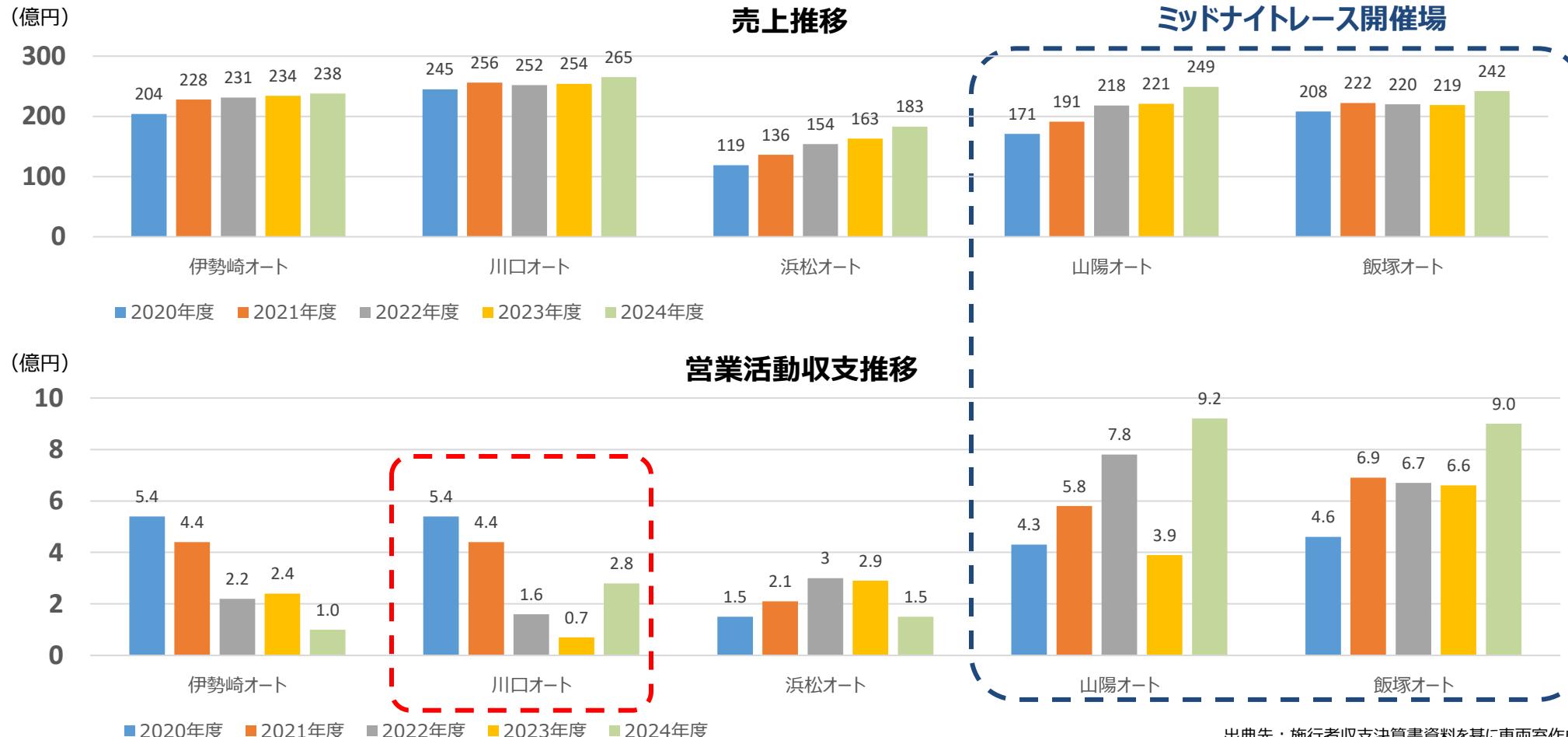
(参考：前回からの進捗) オートレースの売上の状況

- 2024年度(2025年3月時点)の合計売上額は1,177億円（対前年同期比 + 7.8%）。
- 第2次中期基本方針の目標である2025年度の売上1200億円の達成が見込める状況。
- 販売チャネル別ではインターネット・電話投票の比率が年々増加しており2024年度では売上全体のうち約84%を占めている。



(参考：前回からの進捗) オートレース場別の売上・営業活動収支の推移

- 収益性の高いミッドナイトレース開催場である山陽・飯塚オートは大きく収支が改善。
- 他方、無観客開催を行っていたコロナ禍におけるネット投票の急拡大と定着により、特に本場での売上シェアの高かった伊勢崎・川口オートは、設備機器の稼働や警備、清掃などのコストを要する有観客開催が始まると営業活動収支の悪化に直面したが、その後の徹底的なコスト削減の取組により、令和6年度の収支状況は改善。



出典先：施行者収支決算書資料を基に車両室作成

(参考) 地域のランドマークとして生まれ変わる競輪場

- 現在改修中の広島競輪場は、ユニバーサルデザインを取り入れ、災害にも対応するスタンド棟、選手宿舎を兼ねたホテル棟やBMXやスケートボードが楽しめるアーバンサイクルスポーツパークが併設された複合的な施設に再整備。
- 自治体施策との連携による多種多様な活用も可能であり、地域のランドマークとして地域振興の一翼を担うことが期待されている。



広島競輪場「アーバンサイクルパークス広島」
2025年11月より各エリア順次オープン (2026年3月完成予定)

選手宿舎兼ホテル棟